

令和5年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(令和4年度分)

大石田町教育委員会

目 次

I	大石田町教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1.	制度の概要及び目的	1
2.	点検・評価の対象事業	1
3.	点検・評価の方法	1
4.	学識経験者の知見の活用	2
II	教育委員会の活動状況	2
1.	教育委員会の開催	2
2.	教育委員会協議会の開催	3
3.	教育委員会会議以外の活動	3
4.	総合教育会議の開催	4
III	施策の体系	5
1.	基本目標	5
2.	基本的な方針	5
3.	施策の展開方向	6
IV	点検・評価事業と評価方法	12
V	意見の集約	12
	大石田町教育方針「評価シート」集計表	22

I 大石田町教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図り、自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないこととされています。

このことを受け、大石田町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、前年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、「第7次大石田町総合振興計画」を受け、毎年策定する「大石田町の教育」（教育方針）に基づく重点施策の中から、「（コミュニティ・スクール関連を含む）学校教育関連施策9項目」、「生涯学習関連施策11項目」を対象としています。

3. 点検・評価の方法

点検・評価の方法は、学識経験者として学校運営協議会委員及び社会教育委員に意見をいただき、併せて、教育委員、事務局職員及び学校教職員による施策項目毎の5段階評価を行いました。

また、各項目の意見集約を行いました。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行う点検・評価については、法第26条第2項の規定に基づき「教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。」とされています。今年度も昨年同様に、町内小中学校運営協議会委員及び社会教育委員の方から、点検・評価の内容について意見をいただきました。

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催

(1) 令和4年は、7回の教育委員会を開催しました。

① 第1回教育委員会 令和4年2月16日（水）

議案第1号 令和3年度大石田町教育委員会関係補正予算について

議案第2号 令和4年度大石田町教育委員会関係当初予算について

議案第3号 大石田町社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第4号 大石田町立歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について

② 第2回教育委員会 令和4年3月7日（月）

議案第5号 令和4年度県費負担教職員の人事異動の内申について

議案第6号 令和4年度大石田町教育方針について

議案第7号 大石田町立歴史民俗資料館館長の任命について

議案第8号 大石田町立図書館館長の任命について

③ 第3回教育委員会 令和4年4月1日（金）

指名第1号 大石田町教育委員会教育長職務代理者の指名について

④ 第4回教育委員会 令和4年5月11日（水）

議案第9号 令和4年度大石田町教育委員会関係補正予算について

議案第10号 大石田町教育委員会規則で定める申請書等の押印及び署名の特例に関する規則の制定について

議案第11号 大石田町教育委員会規程で定める申請書等の押印及び署名の特例に関する規程の制定について

議案第12号 大石田町社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第13号 大石田町立歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について

議案第14号 大石田町立図書館協議会委員の任命について

⑤ 第5回教育委員会 令和4年7月20日(水)

議案第15号 令和5年度使用小学校及び中学校教科用図書の採択について

議案第16号 大石田町教育委員会視聴覚教具教材貸出規程の一部を改正する規程の制定について

⑥ 第6回教育委員会 令和4年8月17日(水)

議案第17号 令和4年度大石田町教育委員会関係補正予算について

議案第18号 令和4年度(令和3年度分)教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

⑦ 第7回教育委員会 令和4年11月16日(水)

議案第19号 令和4年度大石田町教育委員会関係補正予算について

2. 教育委員会協議会の開催

(1) 令和4年教育委員会協議会

① 第1回教育委員会協議会 令和4年2月16日(水)

- ・ 小学校統合に向けた今後の流れについて

② 第2回教育委員会協議会 令和4年7月20日(水)

- ・ 小学校統合に向けての方針について
- ・ 総合教育会議について

③ 第3回教育委員会協議会 令和4年11月16日(水)

- ・ 大石田町立小学校統合事業 基本構想・基本計画の素案について

3. 教育委員会会議以外の活動

(1) 令和4年度学校訪問

令和4年11月2日(水) 大石田南小学校・大石田中学校

令和4年11月4日(金) 大石田北小学校・大石田小学校

(2) その他協議会・研修活動

- ① 令和4年5月31日（火）
山形県市町村教育委員会協議会定期総会（山形市）
定期総会・山形市立商業高等学校校舎見学会
- ② 令和4年8月4日（木）
北村山市町教育委員会協議会総会・研修会（村山市）
豪雨により欠席
- ③ 令和4年8月5日（金）
山形県市町村教育委員会大会（南陽市）
豪雨により中止

4. 総合教育会議の開催

(1) 令和4年度総合教育会議

- ① 第1回総合教育会議 令和4年8月3日（水）
 - ・ 町立小学校の統合に向けての方針について
- ② 第2回総合教育会議 令和5年1月11日（火）
 - ・ 大石田町立小学校統合事業について
 - ・ 町振興実施計画（教育分野）について

Ⅲ 施策の体系

令和3年3月に策定された「第7次大石田町総合振興計画」における教育・文化分野の基本目標（6つの施策の柱）と基本方針等は次のとおりです。

学校・家庭・地域が一体となって子どもの成長を支え合う地域とともにある学校づくり、未来を切り開き生き抜く力の育成を重視した学校教育の充実、生涯にわたって心豊かに充実した生活を営むことができる生涯学習体制の整備、安らぎと喜びを与える文化芸術及び元気と感動を与えるスポーツの振興を図ります。次代を担う青少年の健全育成の推進や国内外との交流活動の推進に努め、豊かな心を育む教育・文化のまちづくりを進めます。

1. 【基本目標】

「 豊かな心を育む教育・文化のまちづくり 」

2. 【基本的な方針】

(1) 地域とともにある学校づくりの推進

誇り（ふるさとを愛し、地域の文化や伝統を大切にする）と絆（学校・家庭・地域のふれあいと交流で活力に満ちる）と向上心（学ぶ楽しさやよさを実感し、いきいきと学びに向かう）を育む教育を、学校・家庭・地域が一体となり推進します。

(2) 学校教育の充実

生き抜く力（学力・人間力・社会力）を身に付けた創造性豊かな児童生徒を育成するため、教育の情報化の推進など、教育内容の充実に努め、学校施設の整備等、総合的な教育環境の充実に努めます。

(3) 生涯学習体制の充実

子どもから高齢者まで、生涯にわたって心豊かに充実した生活を営むことができるよう多様な学習活動を支援し、誰もが学べる生涯学習環境の整備を推進します。

(4) 文化芸術・スポーツの振興

町民に安らぎと喜びを与える文化芸術及び元気と感動を与えるスポーツについて、町民のニーズを把握し、既存施設の有効活用や各種団体への支援を通して活性を図り、町民の主体的な活動の促進に努めます。

(5) 青少年の健全育成の推進

青少年が健全に育成されるよう、学校・家庭・地域・行政が一体となった町ぐるみの支援体制を確立し、健全な社会環境づくりに向けた活動を推進します。

(6) 国内外との交流活動の推進

グローバル化への対応やグローバルな視点で地域の良さや課題を発見するため、国際交流活動、地域間交流活動を促進します。

3. 【施策の展開方向】

(1) 地域とともにある学校づくりの推進

ア 地域学校協働活動の積極的推進

- 学校経営に対する地域住民や各種企業・団体等の参画を組織的に進め、未来を担う子供たちの成長を支え合う地域学校協働活動の取り組みを推進します。
- コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的推進により、新たな価値を生み出す社会に開かれた教育活動を推進し、多様で良質な学びの機会を保障します。
- 行政を含めた教育・福祉・保健等関係機関の連携をもとにして、家庭教育に関するきめ細かな支援と相談機能の充実を図ります。

イ 「引・伸・灯」教育の推進

- 「可能性を引き出し、良さを伸ばし、心に灯をつける」という視点を常に意識して、子どもからお年寄りまで、あらゆる年代に応じた教育活動を展開し、一人ひとりを大切にする教育活動を推進します。
- 地域共生・地域貢献を念頭におき、「誇り（ふるさとを愛し、地域の文化や伝統を大切にする）」と「絆（学校・家庭・地域のふれあいと交流で活力に満ちる）」と「向上心（学ぶ楽しさやよさを実感し、いきいきと学びに向かう）」を育む教育を推進します。

ウ 開かれた信頼される学校づくり

- 学校施設の地域への開放をはじめ、児童生徒や教職員の地域社会との交流、家庭や地域の声を反映した学校運営の推進を通して、開かれた信頼される学校づくりを進めます。
- 学校と地域の双方向の発信を通じた連携協働により、地域の特性を活かした魅力ある学校づくり、生きがいのある元気な地域づくりを進めます。

(2) 学校教育の充実

ア 生き抜く力の育成を重視した教育内容の充実

- 学力（まなぶ力）の向上を支える基礎的な知識と技能及び思考力・判断力・表現力を育成するため、読解力の向上を図り、主体的・協働的に取り組む探究型学習を促進します。
- 人間力（やりぬく力）の土台となる、考え抜く姿勢、困難を乗り越えようとする強い意志、健やかな体力を育成するため、学習方法の工夫、特別活動や学校行事への主体的な参画、体力・運動能力の向

上及び健康教育の充実に努めます。

- 社会力（つながる力）の育成に向け、人との関わりや体験活動を重視し、道徳教育や人権教育、福祉教育等の充実を図り、規範意識及び人間関係を構築する力を高めます。

イ 社会の変化に対応する教育の推進

- 情報活用能力（ICT）や外国語能力（国際化）を伸ばす教育環境を整備・活用し、未来を切り開く力の基礎作りを行います。
- 専門性の高い高等学校・大学の教育力や、各種分野における一流講師の積極的な活用を通して、学びが好きになる学校づくりを推進します。

ウ 小中一貫教育の推進に向けた教育内容の工夫と統合への準備

- 教育環境の充実を図るため、児童生徒数の減少を見据えた小学校の統合計画を作成し、小中9年間の子どもの育ちを支える小中一貫教育を推進します。
- 小学校の統合に向けた準備及び中学校への円滑な接続を図るため、3つの小学校の同学年同士と一緒に学ぶ機会を定期的を実施し、スムーズな統合へと繋げていきます。

エ 多様なニーズに対応した教育機会の提供

- 特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の実情を考慮し、学校における特別支援教育の充実を図るとともに、個に応じた適切な就学相談・指導に努めます。
- いじめや不登校などの心の問題に対し、心の教室相談員を中学校に配置して、小学校も含めた形で相談・指導の充実を図ります。
- 経済的困難を抱える家庭等に対する就学支援・援助を展開します。

オ 安全対策・通学対策の推進

- 施設・設備の定期的な安全点検を通して各学校との連携を強化し、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう努めます。
- スクールガードリーダーの配置や関係団体による見守り活動の促進等により、登下校時の児童生徒の安全対策の強化を図ります。
- 遠隔地の児童生徒が安全・安心に通学できるよう、スクールバスの運行の維持・充実を図ります。

カ 学校給食の従実

- 学校給食センターの適正な管理・運営を図るとともに、地産地消や

食育の視点に立った取り組みを進めます。

- 安全・安心な米飯を学校給食に提供するため、山形連携中枢都市圏連携事業における広域炊飯施設との連携を進めます。

(3) 生涯学習体制の充実

ア 生涯学習施設「町民交流センター（虹のプラザ）」の積極的活用

- 生涯学習推進の拠点となる虹のプラザについて、誰もが使いやすく学びやすい環境づくりに努め、積極的な利用の促進に努めます。
- 地域課題の解決に向けた学習の機会及び実践の場を提供し、活力あるコミュニティの形成を支援します。

イ 生涯学習情報の提供と図書館の充実

- 子どもから高齢者まで、幅広い年齢の多様な学習活動を支援するとともに、利用者のニーズや社会情勢に沿った学習情報の提供に努めます。
- 利用しやすい図書館づくりを進めるとともに、幅広い世代の交流機会の拡大を目指し、適時性を伴った魅力ある企画展示やイベントを充実させます。

ウ 生涯学習事業の推進

- 常に各世代の学習ニーズの的確な把握に努め、幼児・児童・生徒・青少年・成人・高齢者の各世代に応じた生涯学習活動を企画・推進します。
- 公民館分館においては、中央公民館との連携を密にしながら、地域住民との協働による生涯学習活動の充実を図ります。
- 事業推進にあたっては、町ホームページや広報紙、各種関連施設への掲示等、多様な情報提供の場を活用し、町民への周知と参加意欲の向上を図ります。

エ 各種団体等の活動支援と指導者の育成

- 各種社会教育団体、学習団体及びグループ等の育成・発展に努め、自発的な学習活動を引き出し支援することによって、学び続ける風土を育てます。
- 様々な分野における生涯学習の指導者やボランティア等の育成・確保に努め、町民のニーズに応える学習団体が継続・発展するよう努めます。

オ 学習成果の活用

- 町民の学習活動を支援し、その成果を発表する場及び活用する場を確保することにより、学び続けることの意欲を高めます。
- 町民の学習成果を共有することにより、生涯学習社会を実現し、人づくり及びまちづくりに役立てます。

(4) 文化芸術・スポーツの振興

ア 心豊かな地域文化の形成と芸術の振興

- 地域の歴史・文化の継承と個性あふれる文化の創造に向け、町民主体の芸術文化活動を一層推進します。
- 文化や芸術を振興するための指導者やボランティアの育成・確保、より質の高い芸術に触れる機会の充実を通して「町民一人1芸術文化活動」を促進し、活性化を図ります。
- 歴史民俗資料館の整備・運営の充実を図り、啓発活動や講座、展示、情報発信を通して町内外の人々の意識の向上に努めます。
- 指定文化財の適正な保存・保護に努めるとともに、駒籠楯跡等の埋蔵文化財についても計画的に調査を進めます。

イ 元気と感動を与えるスポーツの普及推進

- すべての町民がそれぞれの体力や年齢に応じたスポーツ活動を行えるよう町民ニーズの把握に努め、誰もが参加できるスポーツ活動の場の提供と充実を図ります。
- ライフスタイルに合ったスポーツ・レクリエーションのあり方、スポーツの必要性・重要性に関する啓発活動等を通して「町民一人1スポーツ」を普及推進していきます。
- スポーツ協会をはじめ、各種スポーツ団体の育成・支援に努めるとともに、地域と一体となった指導者やボランティアの育成・確保に努め、スポーツ活動の活性化を促進します。
- 各種競技団体との連携を通して競技スポーツの強化を図るとともに、東北・全国・世界大会に出場する選手への支援や顕彰を行い、優秀な選手の育成に努めます。

ウ 主体的な活動を促進する組織体制の確立

- 芸術文化を愛する各種団体等が生きがいを持って主体的に活動できるよう、町芸術文化協会の組織の活性化に向けた支援に努めます。
- 「いつでも・どこでも・だれでも」、スポーツ活動を通じた仲間づくり・体力づくりができるよう、「大石田スポーツクラブ」の組織体制の強化と活動の活性化を図ります。

(5) 青少年の健全育成の推進

ア 青少年健全育成活動の充実

- 「青少年育成町民会議」及び「青少年育成推進委員会」の活性化を図るとともに、青少年の健全育成に取り組む団体等を育成・支援しながら、学校・家庭・地域・行政が一体となったネットワークづくりを進めます。
- 健全な社会環境をつくるために、関係団体を中心とした非行防止や有害図書浄化等に関する活動、地域における声かけ運動やあいさつ運動を進めます。

イ 家庭・地域の教育機能の向上

- 家庭教育に関する講座・教室等の開催をはじめ、広報・啓発活動や相談・情報提供等の活動を通して、家庭における教育機能の向上を図ります。
- 地域の教育力を活かした活動の発掘・支援に努め、地域における教育機能の向上を図ります。

ウ 青少年団体の育成と体験・交流活動への参画促進

- 子ども会、青少年団体等の育成・支援に努め、講座や各種教室の開催等を通して各団体のリーダーの育成を図ります。
- 青少年にとって魅力ある体験・交流活動を充実させ、地域活動及びボランティア活動への積極的な参画を促進します。

(6) 国内外との交流活動の推進

ア 地域間交流の促進

- 友好協定を締結している宮城県涌谷町とは、当町の豊かな自然環境や農業資源及び宿泊施設等の特性・資源を活かしながら、行政と関係団体と町民が一体となった交流活動を展開します。
- 県内に限らず、東北・全国に視野を広げ、学校教育及び生涯学習の場においても交流の糸口を探り、地域の活性化につなげていきます。

イ 国際感覚豊かな人材の育成

- 外国語の必修化等に伴い、国際理解教育専門員の積極的活用により、学校教育における外国語教育や外国語講座、国際理解を深める事業の充実を図ります。
- 国際交流活動の中心となる民間団体やリーダーの発掘・育成、国や県等の国際交流事業の情報提供等を行うことにより、町民の国際化への意識を高めるとともに、国際ボランティア活動への参加等、国

際協力活動の促進に努めます。

- 小中学生及び青少年の異文化交流事業を推進し、国際感覚豊かな人材の育成を図ります。

ウ 国際化に対応したまちづくり

- 外国人が住みやすく、訪れやすい環境づくりに向け、多言語版のパンフレット等の作成及び外国語観光案内人の育成等について検討を進めます。
- 大石田を訪れるまたは定住する外国人に対して、役場窓口や観光関連施設における分かりやすい対応を充実していきます。

IV 点検・評価事業と評価方法

点検・評価項目は、令和4年度大石田町教育方針「評価シート」により「A. 地域とともにある学校づくりの推進」、「B. 学校教育の充実」、「C. 生涯学習体制の充実」、「D. 文化芸術・スポーツの振興」、「E. 青少年の健全育成と国内外との交流活動の推進」の分野ごとに5段階評価を行いました。

併せて、「特に良かった点」、「改善を要する点」について記述式により意見を聴取しました。

また、生涯学習分野では、さらに社会教育委員等から具体的事業について意見を聴取しました。

評価結果は、令和4年度大石田町教育方針「評価シート」集計表のとおりであります。

V 意見の集約

1. 教育方針評価（特に良かった点・改善を要する点）

(A) 地域とともにある学校づくりの推進

[1. 地域学校協働活動の積極的推進]

(特に良かった点)

コミュニティ・スクールと連携を図ることのできる体制になっており、サンサンスタディや学校での活動を積極的に進めていただいた、サンサンスタディの取り組みがよく見えた、と評価されました。また、多くの地域の方々と連携して活動できた、協働本部が子どもたちと地域をうまくつなぎ成果があった、といった地域学校協働本部の役割や地域との関わりを評価する意見が多くありました。

コロナ過で制限はあったが、授業を参観いただくなど学校経営について理解していただきアドバイスをいただいた、学校の要望に応え、地域の人材を活かした授業を各校複数実施できた、という意見もありました。

令和4年度には、大石田学園運営委員会と大石田町地域学校協働本部が「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」の文部科学大臣表彰を受賞しており、これまでの両者の継続的で活発な活動が評価されたという意見もいただきました。

(改善を要する点)

統括地域学校協働活動推進員の負担軽減のために、各学校に配置されている地域学校協働活動推進員との連携を充実させる必要があるという意見がありました。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進が不十分な点

として、統括地域学校協働活動推進員と各学校の地域学校協働活動推進員の連携が不足しており、これからの課題という意見がありました。

また、中学校での3年生の学習会について、地域の方々に学習を見ていただく機会があれば、学習時間の増加にもつながるのではないかという意見もありました。

[2. 「引・伸・灯」教育の推進]

(特に良かった点)

子どもたち一人ひとりのことを考えた取り組みがたくさんある、子どもたちの良さをできる限り引き出そうと教育活動をしている教師が多かったと感じた、特別活動の校内研究を核とすることにより、児童の自尊感情が育ち、主体的に物事に取り組むようになった、という意見をいただきました。

また、地域との関わりについて、校外学習、見学、感謝の会などの学校行事で地域の方にたくさん関わっていただき、双方向で交流ができ児童が成長する機会がたくさんあった、地域学校協働本部を介して、地域の方と関わる教育活動の範囲が広がった、地域学校協働活動を通して、子どもの学習意欲を高めるだけでなく、関わった地域サークルの活性化が図られた点が良かった、といった評価をいただきました。

(改善を要する点)

虹のプラザの利用者を見ていると、文化面でもスポーツ面でも高齢者しかも女性の方だけ。男性の中高年層を引き込む方策を考える必要があると思う、という意見がありました。

また、キャリア教育の分野では、小学校でも力を注いでいかなければと思う、コロナの影響などで、いろいろな世代との関わるの機会をとることが少なかった、という意見もありました。

[3. 開かれた信頼される学校づくり]

(特に良かった点)

開かれた学校づくりの一環として、学年、学級だよりを通して積極的に学校外に発信することができた。また、維新祭やキッズタウン、中学校1年生の町民集会での発表など、地域行事への生徒の参加の機会が多かった。

どこの学校も地域人材を広範に教育活動に取り入れていました。維新祭や森作り活動、大石田かるた大会など地域とのつながりを感じる活動が多かった。

学校運営協議会委員による授業参観や熟議、総合的な学習で地域の特産物である「すいか・米・そば・自然薯」について地域の方からの指導・感

謝の会の実施、伝統芸能「大黒舞・花笠踊り」の伝授・披露等、地域との連携・協働の活動が実施できた。

様々な制限の中ではあったが、地域の人・物・自然・文化などを教材として学びに活用することができた。多くの方にご協力いただき、まとめなどを校内外に向けて発信し、地域の喜びにすることができた。

このように、開かれた学校づくりでも、学校と地域が連携・協働しながら活動に取り組んでいることに評価をいただきました。

(改善を要する点)

生徒会を中心に担当の先生の負担が大きい。勤務時間外の会議や休日に教員が引率するなど、働き方改革に反しているところがある、という意見がありました。

町の発展計画なども受けた育てたい人間像を地域と学校が共有して、さらに、そのための取り組みも共有していくことが必要と考えます。学校運営協議会がそういった場になればと感じます。

コロナ対策が緩和され、地域の方々に地域の先生として学校教育に参画いただく機会を増やしていけるよう工夫したい、といった意見がありました。

(B) 学校教育の充実

[1. 生き抜く力の育成を重視した教育内容の充実]

(特に良かった点)

総合的な時間をはじめ、各教科でも探究的な学習が進んでいる。レポートにまとめたり、スライドにまとめて発表する学習が増えた。

サンサンスタディ、総合のような内容の探究型学習による自ら学ぶ姿勢を育む合科的な教育の推進。学校の教育活動全体で、人間力を育むことができています。授業では、探究型を意識した指導が進んでいる。特別活動を中心にして、子どもたちの自尊感情を高め児童自ら探究していくことを教科に活かすよう試みてきた。といった感想がありました。

特別活動を校内研究として取り組むことによって、教員の指導観のアップデートに役立った。「させる」から「ささえる」への転換。児童の人間関係の改善により学びの基礎をつくることができた。といった感想も寄せられました。

(改善を要する点)

探究型学習についての評価がある一方、探究型学習を実施する前の基礎基本の定着を確実なものにしたい、という意見がありました。

特別活動をベースにしつつ、培った指導観を探究型の学びへとつなげていきたい。

今後も研究を進め、協働的な学びと個別最適な学びの両立を進めていく

こと、当事者意識を持たせるとともに、行動する機会をさらに提供していくこと、について改善を要するという意見がありました。

[2. 社会の変化に対応する教育の推進]

(特に良かった点)

総合的な学習の時間で、情報活用力を高める機会がありました。情報活用については総合的な学習でも探究学習でも、タブレットやPCの活用を行った。

コロナ過でリモート授業を行ったこともあり、タブレットの活用には子どもも教師も慣れてきたと思う。授業の中にICTを取り入れて有効に使える場面が多々あることも実感できた。

ICT教育については、去年はスタートの年、今年は活用が大きく進んだ1年だったと感じる。タブレットの様々な機能を使った授業やリモート授業を、先生方がどんどん挑戦し、有効に利用したといった、ICTの活用が日常になりそれを有効に活用できている、といった意見が多くありました。

また、教科担任制にしたことで外国語教育は充実していたと感じる、ICTを活用し、外国語への苦手意識が減ってきている、という意見がありました。

(改善を要する点)

ICTの活用が進む中で、情報を取捨選択する力、ICT活用に偏りすぎて、じっくり考える事が減ってきているような感じがする、という意見がありました。

また、学習アプリの充実、臨機応変に学習アプリが使えると授業しやすい。外国語能力を伸ばすための方策として、先生方への研修がさらに必要である。児童のメディアリテラシーが充実していく中で、一部、適切に扱うことができない児童がおり、未然防止が難しい、といった課題も挙げられました。

[3. 小中一貫教育の推進に向けた教育内容の工夫と統合への準備]

(特に良かった点)

各学年ごとの段階に応じたサンサンスタディが企画実施され、子どもたちの交流の深まりにつながっている。学びを通して他校との交流を図ることができた、と評価をいただきました。また、サンサンスタディが定着し、教科版の実施も児童にとっては大きな刺激となったようだ、教科版の実施で3校のつながりが強くなったといった、令和4年度から実施したサンサンスタディ教科版についても評価をいただきました。

新入生説明会で中学1年生と小学6年生との交流があったことも意見と

して挙げられました。

(改善を要する点)

小中間の連携、交流学习については、これからの課題だという意見も挙げられております。

町の様々なイベントなどに参加を促すことで、子ども同士の交流活動はより効果を上げていくものと思う。

また、サンサンスタディ教科版については、ねらいを達成するために各校の担任相互による授業づくりの充実が必要であるという意見や、教員の多忙化もあり実施回数を増やすのが時間的に厳しいので、内容の充実を考えていくべきだという意見もありました。

[4. 多様なニーズに対応した教育機会の提供]

(特に良かった点)

特別支援教育補助員、SC、SSWCなど人員の配置が多く助かっている。

町のSSWCやSCとの連携に留まらず、多様な機関や特別支援学校にも相談し、具体的な手立てを検討できた。

支援員の先生と密に連携しながら取り組んでいると感じる。

相談活動を通して、子どもや家庭の声を拾い上げ、指導に活かされていると思う、といった意見がありました。

(改善を要する点)

SSWCと連携をもっと取りやすい環境整備として、職員室在中などができないか。

就学指導における、保育園との連携が課題である。

親身になって寄り添う人は絶対に必要です。といった意見が寄せられました。

[5. 安全対策・通学路対策の推進]

(特に良かった点)

スクールガードリーダーをはじめ、交通指導員等との連携、季節に応じたスクールバス停留所などの変更などタイミングを逃さず対応している点が評価されています。

スクールガードリーダーについては、他にも、子どもたちの見守りを年間予定している日数の倍くらい実施していただいた、丁寧な巡回で児童は安全に登下校することができている、などの感謝の声がありました。

各学校での取り組みとして、避難訓練、安全点検を確実にできた、新たに不審者対応の訓練を実施できた、という報告も寄せられました。

また、通学路の安全点検、施設・設備についてはその都度確認・対応い

ただき安全面に配慮されているという意見がありました。

(改善を要する点)

施設・設備の定期点検は、校内で行う際同じ所を同じ目で見ため、見落としが発生しやすい。

Jアラートに関する避難訓練を実施したい。

ニュース等で学校内での傷害事件が発生している。研修等で教職員の対応力の向上を願う。

下校時はもっと見守り隊などがあればいいと思う。

放課後は学童を利用する児童が多い中、バスの運行日程や乗車児童の把握にとっても気を使っている。といった意見が寄せられました。

[6. 学校給食の充実]

(特に良かった点)

季節や行事を大切にしている、地産地消のメニューが工夫されており、郷土愛の育成や食育にもつながっている。栄養士調理師おすすめ献立など特色ある献立が去年より充実した。

心を育む給食週間で食に対する興味を高めることができました。

ブックランチは食で学校と家庭をつなぐ架け橋になっていると思います。

これまでも大石田町の給食はおいしいと評価されており、これからもそうあってほしい。子どもが学校に行く楽しみの一つとして重要なポイントと捉えている。など、学校給食に対しては高い評価をいただきました。

(改善を要する点)

給食試食会を来年度は再開してほしいです。

全学年での栄養教諭による食育指導をお願いしたいです。

山形の物、地元の物を使った料理をたくさん食べさせてほしいです。

といった要望が寄せられました。

(C) 生涯学習体制の充実

[1. 生涯学習施設（虹のプラザ）の積極的活用]

(特に良かった点)

地域学習の成果を町民の前で発表する場として、良く活用されていると思います。他校との交流や伝統の継承、芸術鑑賞等で大いに活用することができました。テスト前に子どもたちが利用しているようで、使いやすく学びやすい施設になっていると感じます。さまざまな催しにも快適に使用されている。いろいろな会議に対応して仕切ることができる中会議室が便利。などの感想が多くありました。

また、虹のプラザの職員が協力的で使いやすい環境を整えていただいたという意見もいただきました。

(改善を要する点)

まだ、誰もが使いやすいというところまで行っていないように思います。学習スペース（図書館とは違い質問し合える）の開放があると、さらにいいと思います。PTAで利用したときにも減免してほしい。といった意見がありました。

[2. 生涯学習情報の提供と図書館の充実]

(特に良かった点)

「本の通帳」の取り組みがいい。ものづくりの企画など販わっていた。お知らせが多くあり、企画やイベントが魅力的だった。といった評価をいただきました。

また、児童会で定期的に町立図書館を利用できている。広報でのPRなどがあり入りやすい。といった感想もありました。

(改善を要する点)

もっと図書館をアピールして、たくさんの人に利用してもらえるようにしてほしい。児童の利用者が限られており、親が行かないと利用しない。さらに読者の知的好奇心を刺激する企画を組んでいただきたい。書籍に添えるPOPをもっとアピールしてもらおうと、手に取りやすくなると思う。といった意見がありました。

[3. 生涯学習事業の推進]

(特に良かった点)

放課後子ども教室を通して、家庭や学校以外の子どもの学習機会を提供し、関わる大人の学びの機会にもなっていると思います。

子どもたちの活躍の場を創るために柔軟に対応していただきありがたかった。他市町村に比べ多様な自主事業や企画が素晴らしい。SNSを活用し情報提供を行っている。といった評価をいただきました。

(改善を要する点)

ラインの活用について、計画的な配信をしてほしい。

公民館と学校のつながりを推進してほしい。

登録している人も目には触れるが、全ての人に情報が届いているとはいえない。といった意見がありました。

[4. 各種団体の活動支援と指導者の育成]

(特に良かった点)

町民大学のような学べる事業の展開がいいと思います。社会教育面が充実していると思います。町全体で子どもを伸ばしていることが分かりました。などの評価をいただきました。

(改善を要する点)

各種団体への支援は行えているが、どの団体も後継者育成に課題があります。

スポ少への支援がもう少し欲しい。どのスポ少も団員募集に苦勞しており、スポーツクラブの宣伝もいいですが、子どもたちのスポーツへの出会いのきっかけになるので、スポ少活動をもっとアピールしてほしいです。といった要望や課題が寄せられました。

[5. 学習成果の活用]

(特に良かった点)

町民集会で中学1年生の総合学習の成果を町民に向けて発信することが出来ました。

維新祭での生徒会活動の発表、芸術祭などでの発表などが良かった。町芸術祭を複数日で開催するなど、要望に応え発表の場を増やしたことが良かった。

学校で学習の成果発表の場を、いろいろな機会を活用して提供していただき、子どもたちの自尊感情を育てる機会となっている。といった感想がありました。

(改善を要する点)

加盟団体以外の活動についてなかなか把握できず、需要を掘り起こしきれていないと思います。

なかなか発表の場がないので増やして行ってほしいです。などの意見がありました。

(D) 文化芸術・スポーツの振興

[1. 心豊かな地域文化の形成と芸術の振興]

(特に良かった点)

芸術に触れる機会が全ての児童にあった。

俳句や書道において様々な活躍が見えました。歴史民俗資料館から、調べ学習の際にさまざまな資料を提供してくれました。

歴史民俗資料館の企画展示を今後も継続していただきたい。

それぞれの団体ごとにいろいろな事業が展開されている。といった評価をいただきました。

(改善を要する点)

まだまだ盛り上がりには欠けます。文化の香りがする町づくりはこれからです。

大石田町の文化について、もっと町民が理解し、誇りに思うようにしていきたい。

資料館で、駒籠楯跡で発掘された物の展示ができないか。資料館のさらなる整備や運営の工夫を望みます。などの意見をいただきました。

[2. 元気と感動を与えるスポーツの普及推進]

(特に良かった点)

東北大会以上に参加する選手を激励していることが広報でもつぶさに分かる。望ましい姿として広く伝えているのはいい効果となっていくと感じる。

全国レベルの選手を大いにクローズアップし、町民や若者、子どもたちを盛り上げている。

全国、世界で活躍できる選手が出てきたことは素晴らしい。町民としてしっかり応援したい。

大きな成果のあった選手をPRしたり、スポーツクラブでも会員が大きく増加するなど、普及が進んだと思う。といった意見がありました。

(改善を要する点)

スポーツに興味のない人にも興味を持ってもらえるようなことが必要だと思う。

子どものスポーツ離れが進んでいます。ぜひスポ少のアピールを町でも後押ししてもらいたい。

部活動の地域移行を早急に進めてもらいたい。といった意見や要望がありました。

[3. 主体的な活動を促進する組織体制の確立]

(特に良かった点)

スポーツクラブの内容が充実している。さらに内容、種目を広げてほしい。

町全体でスポーツを推進していることが分かった。といった感想がありました。

(改善を要する点)

多忙な若者への動機づけが必要。

少子化に伴いスポーツ少年団の再編について考える時期に来ている。

中学校の部活動地域移行とも関連するが、今後子どもたちがどんなスポーツにどんな形で取り組むことができるのか、見えにくくなってきていると感じる。といった課題が寄せられました。

(E) 青少年の健全育成と国内外との交流活動の推進

[1. 青少年健全育成活動の充実]

(特に良かった点)

町民集会で小学生や中学生による町の魅力を発表する企画がとてもよかった。故郷を愛し、大切にしていこうという気持ちが育まれると感じた。

子どもたちの活躍の場があり大変よかった。認められる場があって子どもも保護者も喜んだと思う。

地域の方が大変協力的で、子どもたちへの声かけをしていただいている。大石田町の子どもたちは外で会うとみんな気持ちよくあいさつしてくれる。といった評価や感想をいただきました。

(改善を要する点)

あいさつに関しては、評価がある一方で、コロナ禍のマスク着用もあり声が小さくなっていると思う、という意見がありました。

また、町民集会在、中学校の教育課程と合わないところもあり、悩みどころである。多感な中学生には落ち度なく目を通すことが必要である。という意見もありました。

[2. 家庭・地域の教育機能の向上]

(特に良かった点)

県や学校との連携による家庭教育講座を実施していることがいいと思います。家庭科での地域の先生の活用。家庭への働きかけが多くあってよかった。といった感想がありました。

(改善を要する点)

コロナ前に地域の方々と一緒に行った寺子屋などがまた開催できたらと思う。

お母さんたちが集まり、家庭のことを相談できる場があるといいと思う。

メディアとの付き合い方など、家庭教育力の向上が必要。といった意見がありました。

[3. 青少年団体の育成と体験・交流活動への参加促進]

(特に良かった点)

子どもたちにとって多くの活動種目、受け皿が用意されている。

夏休み中のボランティア活動、キッズタウン、雪かきボランティアなどに生徒が参加できた。

活動が多くあり、児童も意欲的に参加していた。といった感想がありました。

(改善を要する点)

校内でのボランティア活動が活発には行われていない。ボランティア意識の低下を感じる。

子どもの数が減っている中で、育成会の存続と学校との連携が課題と感じる。といった課題が挙げられました。